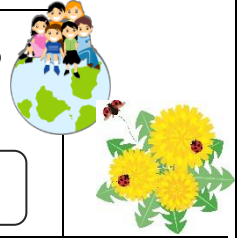


ひゅーまんらいつ



令和3年度第8号



たんぽぽ読書会のみなさん、ありがとうございました。

令和3年度第3回3年生人権・同和教育ホームルーム活動 「私たちの感想」より

テーマ 「結婚差別について学ぶ」

講師：たんぽぽ読書会のみなさん（西予市）

○ 自ら知ろう

私は、結婚差別のことをどこか、物語の中だけのことだと思っていました。以前学習した『人間の輪』に書いてあった結婚差別の事例も最後はきれいにしめられていて、現実味が感じられなかったからだと思います。

今回「たんぽぽ読書会」の方に結婚差別の現実について実際に話していただいて、初めて本当に結婚差別が存在していて、この事で苦しんできた人がいるのだということに気付かされました。そして、現実の結婚差別は、物語のように終わらないことがあるということも知りました。差別をなくさなければならないと思うのならば、まずは自分からその辛い現実と向き合い知ろうと努力して、今まで自分が行ってきた行動を振り返り、気付かない間に差別をしていたのではないかと自分と向き合う事が大切だと思います。そして、その振り返りをきっかけにして、これから先、絶対に差別をしないように勉強していきたいと強く思います。

○ 勇気が出ない時には周りの人と力を合わせて！！

私は、今回の授業の中で実際の結婚差別の体験談を聞き、自分たちにとってどれだけ身近な事なのかを知りました。今まで授業の中で『人間の輪』を通して結婚差別について考えたことは何度もありましたが、差別にあった人の話を聞くのは初めてで、今後自分達がどのように人権問題に向きあっていくべきなのかを考える機会にもなりました。

お話を聞く中でも、特に私が心に残った言葉がありました。それは「自分の心と照らし合わせる。」
「勇気が出ない時には周りの人と力を合わせて。」という言葉です。私は日常生活を送る中で、他の人の意見に流されてしまい、自分の心と反対のことを言うてしまうことがあります。もし、私が差別をしている人を目撃してしまったら…もしかしたら、怖くて負けてしまうかもしれません。しかし、そんな時には一度自分に問いかけて気持ちを確かめてからしっかりと発言したいです。そして、さらに、味方となってくれる、私と同じ考え方の人と協力して差別を解消していきたいです。

○ 「人はなぜ差別をするのか？」を自分に問う。

お忙しい中、貴重な時間を割いてお話に来て下さりありがとうございました。正直1時間では時間が足りなかったなとも思いました。自分なりに「人はなぜ差別をするのか？」について考えてみました。それはおそらく、<自分より優れた人に嫉妬しているから><退屈だったから><非日常を味わいたかったから><心が弱いから>なのではないかなと思いました。では、「差別をなくすためには？」<差別について正しい知識を知る><一人ひとりが自覚を持って行動する><身近に困っている人がいたら助ける>事が大切だと学びました。そして何より今まで人権・同和教育を学習してきて、差別は身近なところにはないと思っていたけれど、自分が知らないだけなのだと気付きました。もし、部落出身の人がいても気にすることは無い、辛かったらいつでも相談に乗るよと声を掛けられるようにしたいです。

そして世界はきっとひとつになる。「Happy Xmas」

So this is Xmas
もう、クリスマスだね
And what have you done
今年は何んなことをしたの？
Another year over
今年ももう終わりなんだね
And a new one just begun
新しい年が始まるんだ

And so this is Xmas
ほら、クリスマスだよ
I hope you have fun
きみが楽しんでいるといいな
The near and the dear one
そばにいる人も大切な人も
The old and the young
お年寄りも若者も

A very Merry Xmas
メリー クリスマス
And a happy New Year
そして、新年おめでとう
Let's hope it's a good one
いい年になるように祈ろう
Without any fear
恐怖のない世界になるように

And so this is Xmas (war is over)
ほら、クリスマスだよ (争いはもう終わり)
For weak and for strong (if you want it)
弱くても強くても (みんなが望みさえすれば)
For rich and the poor ones (war is over)
お金持ちでも貧しくても (争いはもう終わり)
The world is so wrong (if you want it)
世界は間違っているけれど
(みんなが望みさえすれば)

And so happy Xmas (war is over)
ハッピー クリスマス (争いはもう終わり)
For black and for white (if you want it)
黒人も白人も (みんなが望みさえすれば)
For yellow and red ones (war is over)
アジア系もヒスパニック系も
(争いはもう終わり)
Let's stop all the fight (now)
全ての争いをやめよう (いますぐに)
A very Merry Xmas メリー クリスマス
And a happy New Year
そして、新年おめでとう

Let's hope it's a good one
いい年になるよう祈ろう
Without any fear
恐怖のない世界になるように

And so this is Xmas (war is over)
クリスマスがやってきたね (争いはもう終わり)
And what have we done (if you want it)
今年の僕たちはどんなことをしたんだっけ
(みんなが望みさえすれば)
Another year over (war is over)
今年ももう終わり (争いはもう終わり)
A new one just begun (if you want it)
新しい年が始まる (みんなが望みさえすれば)

And so happy Xmas (war is over)
ハッピー クリスマス (争いはもう終わり)
We hope you have fun (if you want it)
きみが楽しんでいるといいな
(みんなが望みさえすれば)
The near and the dear one (war is over)
そばにいる人も大切な人も (争いはもう終わり)
The old and the young (now)
お年寄りも若者も (いま)

A very Merry Xmas
メリー クリスマス
And a happy New Year
そして、新年おめでとう
Let's hope it's a good one
いい年になるよう祈ろう
Without any fear
恐怖のない世界になるように

War is over, if you want it
争いは終わるよ、みんなが望みさえすれば
War is over now
争いはいま終わるんだ

Happy Xmas
ハッピー クリスマス

楽曲・歌詞解説

『Happy Xmas』

(War Is Over 戦争は終わった)は、1971年に発売されたジョン・レノン&オノ・ヨーコの世界平和への祈りが込められた楽曲です。Beatles (ビートルズ)のメンバーでもあったジョン・レノンは1980年12月8日、熱狂的なファンの凶弾に倒れ帰らぬ人となりました。没後41年たっても、クリスマスシーズンになると必ずどこかから流れてくるこの1曲。今年1年を振り返り、小さなことでもかまいません。自分にできることから、差別を解消していく行動を取りましょう。



人権キーワード

知る
気付く
仲間
自分理解

感想
